

毎日新聞社プレゼンツ 中東ヨルダンの現場から

～1万枚の写真が語る、紛争地域での人々の暮らし～



講演内容

2016年の9月から約1ヶ月の間、シリア内戦のためヨルダンに避難したシリア難民の今を取材をされた、毎日新聞社記者の津久井達氏と久保玲氏をお招きし、講演会を開催します。

2011年春に始まったシリア内戦では、約480万人のシリア人が国外に逃れ、隣国ヨルダンでは、65万人が帰郷を願いながら、今もなお厳しい生活を余儀なくされています。現地で撮影された写真を題材に、記者の生のお話に触れ、「紛争現場の真実」と「難民取材の意義」について、参加者とともに考察をします。

～企画趣旨～

本講演会は、文学部キャンパスアジア・プログラムの「キャンパスアジア演習Ⅱ」の授業の一環として開催し、受講生以外にも文学部生に広く公開します。文学部のキャリア教育の一環として、実際の社会問題をテーマに、「異文化理解」・「多文化共生」の観点を育むとともに、世界の様々な問題を報道するジャーナリストの仕事の内容に触れることも目的としています。

■日時：11月24日(木)5限(16:20～17:50)

※基本的に、途中入席・途中退席は認められません。

■会場：平井嘉一郎記念図書館 1階カンファレンスルーム

■参加人数：先着30名まで

※希望者は、文学部事務室窓口までお越し下さい。

■応募締切：11月18日(金)17:00迄

定員数に達し次第
受付を終了します。
お早めにご応募
ください！！